

(仮称) 子ども・子育てサポート等複合施設新築工事

技術協力業務委託

審査講評

2026 年 9 月

(仮称) 子ども・子育てサポート等複合施設新築工事技術協力業務委託
プロポーザル評価委員会

「（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設新築工事技術協力業務委託」（以下「本事業」という。）に係るプロポーザル評価委員会での審査結果を踏まえ、本事業を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）の選定を行ったので審査講評をここに公表する。

2026年9月24日

（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設新築工事技術協力業務委託

プロポーザル評価委員会

委員長 川崎 一泰

委 員 及川 直樹

委 員 本田 律

委 員 平川 浩二

委 員 山形 悠介

目 次

1. 評価委員会の設置及び開催経緯.....	1
2. 審査結果	1
(1) 資格審査	1
(2) 実績評価及び技術提案評価	2
3. 総評	4

1. 評価委員会の設置及び開催経緯

優先交渉権者の選定にあたり、公平かつ適正に審査を実施するため、学識経験者及び市職員から構成する「（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設新築工事技術協力業務委託プロポーザル評価委員会」（以下「評価委員会」という。）を設置し、参加者から提出された提案書の評価を行った。

評価委員会の構成は、次のとおりである。

区 分	氏 名	所属・役職
委員長	川崎 一泰	中央大学総合政策学部 教授
委 員	及川 直樹	都市づくり部 都市政策課 中心市街地開発推進室長
	本田 律	学校教育部 施設課長
	平川 浩二	環境資源部 循環型施設管理課長
	山形 悠介	子ども生活部 子ども家庭支援課長

評価委員会の議事内容は、次のとおりである。

回	日程	議事内容
1	2026 年 5 月 22 日	・ 委託業務内容の確認 ・ プロポーザルスケジュールの確認 ・ 選考方法の確認 ・ 公募資料案の確認
2	2026 年 9 月 24 日	・ 事業者プレゼンテーション及びヒアリング ・ 最終審査、最優秀提案者の選定 ・ 審査講評

2. 審査結果

(1) 資格審査

2026年6月30日までに下記の参加者から参加申請書の提出があり、市において、当該参加者がプロポーザル説明書等に示す参加資格要件を満たしているかどうかを審査した。審査の結果、すべての参加者が参加資格要件を満たしていることを確認した。

プロポーザル参加者	・【参加者番号 5】株式会社熊谷組 首都圏支店 ・【参加者番号 6】戸田建設株式会社
-----------	--

(2) 実績評価及び技術提案評価

1) 審査方法

評価委員会は、参加者の提案内容について、事業者選定基準の「別表 評価項目及び配点」に定める、実績評価及び技術提案評価の評価項目ごとに評価し、技術提案評価点（最大85点）を算出した。

【実績評価の採点方法】

採点基準	算出方法
要件を満たす実績が3件以上ある	配点×1.00
要件を満たす実績が1～2件ある	配点×0.50
要件を満たす実績なし	配点×0.00

【技術提案評価の採点方法】

評価	評価内容	算出方法
A	特に優れた提案であり、高い効果を期待できる	配点×1.00
B	優れた提案であり、効果が期待できる	配点×0.75
C	一般的な提案である	配点×0.50
D	一般的な提案であるものの、その効果に懸念がある	配点×0.25

<評価項目及び配点>

評価方法	評価項目	配点
実績評価	I 企業の施工実績	10
	II 技術協力業務責任者の実績	5
技術提案評価	III 技術協力業務における実施方針	40
	IV 工事施工における実施方針	45
合計		100

2) 技術提案評価点

前項の採点方法に基づく技術提案評価における技術提案評価点の結果を次に示す。

【参加者に対する技術提案評価点】

評価方法	評価項目	配点	配点合計	【5】	【6】
実績評価	Ⅰ 企業の施工実績				
	施工実績	10	10	10.0	10.0
	Ⅱ 技術協力業務責任者の実績				
	施工実績	3	5	3.5	2.0
	資格	2			
技術提案評価※	Ⅲ 技術協力業務における実施方針				
	① 技術協力業務の実施体制	5	40	3.8	3.5
	② 関係者との円滑なコミュニケーション手法	5		3.8	3.8
	③ 施工上の課題への対応	15		11.3	10.5
	④ コストコントロール手法	15		9.8	9.8
	Ⅳ 工事施工における実施方針				
	① 施工体制	5	45	3.5	3.5
	② 工期の最適化と確実な履行	15		12.8	9.0
	③ 施工管理（品質管理）の手法	5		3.3	3.3
	④ コストコントロール手法	10		6.5	6.5
	⑤ 市内企業に対する貢献策	10		9.0	5.0
	合計		100	77.3	67.0

※小数点以下の端数が生じた場合は、小数点第2位を四捨五入するものとする。

3. 総評

評価委員会は、参加者の提案に対し、技術提案書の審査及びプレゼンテーション・ヒアリングを踏まえ、厳正かつ公正に評価・審査を行い、参加者番号5の株式会社熊谷組 首都圏支店を最優秀提案者として選定した。

市としては、（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設新築工事においてECI方式を採用することで施工難易度の高い部分などに技術協力提案及び技術支援を受けて実施設計に反映させ、確実な工事の推進を期待していたところである。各参加者からは、現段階において具体的かつ実現性の高い技術提案が示され、総じて質の高い提案を得ることができた。なかでも、最優秀提案者である株式会社熊谷組 首都圏支店の提案に対する評価委員会の講評は、次のとおりである。

技術協力業務の実施体制については、責任者を一元的な窓口とし、構造・躯体、BIM検証及びコスト検証の各チームで構成するフロントローディング体制を構築するとともに、市内協力企業が参画している点を評価した。また、施工上の課題への対応については、社会情勢を踏まえた先行調達の実施をはじめ、振動・音に関するシミュレーションに基づく防振対策など、具体的かつ実効性のある提案が示されている点を評価した。さらに、関係者との円滑なコミュニケーション手法については、「子どもシミュレーション」による Consent や手すり位置の検証など、子ども目線に立った施設整備への配慮や、施設運営に女性職員が多いことを踏まえた女性技術者の配置など、本施設の特性を十分に理解した提案がなされている点も評価した。

工期の最適化と確実な履行については、品質及び安全の確保を前提としながら、工程を7か月短縮し、2030年度中の確実な開所を目指す提案が示されている点を評価した。また、さらに、市内企業に対する貢献策については、市内企業の積極的な活用に関する具体的かつ定量的な目標が示されていることに加え、町田市内企業や大手専門工事業者等によるバックアップ体制が構築されている点を評価した。

評価委員会としては、最優秀提案者が今後推進していく本事業について、さらに充実した取組みが実現されることを期待し、以下に示す項目について、市や地域等の関係者との協議により、十分な検討に基づく事業が推進されることを強く望む。

- ・VE 提案の提出方法や、頻度、市との合意形成のタイミングは、市の意思決定手続きや設計者の作業工程に十分配慮し、円滑な事業遂行に努めること。
- ・工期短縮の手法については、整備の前提条件等を踏まえながら、市・設計者と十分に協議を行い、両者の業務負担を考慮した円滑な事業遂行に努め、提案した工期を確実に履行できるよう取り組むこと。
- ・市内企業との積極的な連携・調整を図り、市内企業活用に関する提案内容を着実に実施することで、市内経済の活性化に貢献すること。